

11. 今回受講した内容は今後活かしていけるとおもうか。どのような点で活かしていけるか、またはなぜ活かさせられないかについても記入して下さい。

| |
|---------|
| 思う・思わない |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

12. 今回の実習について、宿泊場所やキャンパス移動、スケジュール等、運営について意見を記入して下さい。

| |
|-------|
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

13. 最後に、今回の実習に参加したことは自分にとってためになったとおもうか。また、その他今回の実習についての感想等を記入して下さい。

| |
|---------------|
| ためになった・ならなかった |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

1. 受講学生によるアンケート評価結果

【コース①】 遺伝子解析 受講者：宮崎大学 1名、東海大学 6名

| 質問項目 | ① | ② | ③ | ④ |
|--------------------|-------------|---------|-----------|--------------------|
| 声の聞き取りやすさ | 聞き取りやすい (7) | 早口 (0) | 声が小さい (0) | その他の理由で聞き取りにくい (0) |
| 講義(実習)のスピードおよび時間配分 | 速すぎる (0) | 適切 (7) | 遅すぎる (0) | |
| テキストおよび資料 | 適切 (7) | 不適切 (0) | | |
| 実習内容に関する説明 | 適切 (7) | 不適切 (0) | | |
| 実習機械・器具の説明 | 明確 (7) | 不明確 (0) | | |
| 質問への対応 | 適切 (7) | 不適切 (0) | | |
| TAの指導補助 | 適切 (7) | 不適切 (0) | | |

1) 今回受講して興味を持てた点

- ・ 遺伝学を研究室で学んでいるが、DNA 自体の溶出は経験したことがなかったため、実験の過程や違いに興味を持つことができた。また、PCR は初めての経験だったため、その原理や実験方法など興味を持って学ぶことができた。
- ・ 今回遺伝子解析コースに参加したが、私自身が今度取り組むであろう分野の内容を理解しやすいように、丁寧に説明しており、基礎的な事でも再度興味を持って参加することができた。実験室にある器具の取り扱い方や用途に関しても興味深いものばかりだった。
- ・ タンパク質と遺伝子では、扱うサンプルが異なるが、現在行っている電気泳動とも通じるところがあり、設備の差にもとても驚いた。紫外線を用いてバンドを確認することで、実験の作業効率があがることを知り、参考になった。
- ・ 電気泳動の方法に興味を持った。私の研究室では、今回の倍以上の時間を要するが、ここでのアガロースを用いた泳動はわずか20分という驚きの時間だった。私の研究室にもあの泳動装置が欲しい…。
- ・ PCR を行ってみたかったため、今回の実験はとても楽しかった。
- ・ 研究機器が見たことのないものばかりで、感動した。私が研究室で行っている実験とは異なった方法を学ぶことができたため、全てにおいて興味を持つことができた。
- ・ 実験機械や器具が豊富で、自分たちの物よりも良い機械を使わせてもらえた点が良かった。PCR も行った事がなかったため、興味を持てた。

2) 今回受講して興味を持てなかった点

- ・ 特に無し

3) 今回受講した内容について、今後活かせると思った点

- ・ 自身の研究にも器具の使い方など通ずるところがあった。今回受講した際に学んだ、器具の使い方を今後の研究に応用していけると思った。
- ・ 遺伝子分野で再度理解を深めることができ、行ったことのない手法を経験することができたという点では、あらゆる視点から実験や研究内容を見直す良い機会になった。
- ・ 今後の自分たちの実験効率を円滑にするという点で、とても良い経験だった。
- ・ 今後ニワトリだけでなく、ウシの研究を行う機会ができたとき、今回学んだことを活かしていきたい。
- ・ PCR は今後さらに普及していくと思うため、いろいろな面で用いることが多くなると思う。
- ・ PCR についてほとんど知識がなかったため、今回学んだことは今後実験を行ううえで、良い経験、

知識として活かしていけると思う。

- ・ 初めて使う器具もあったため分からないことばかりだったが、使ったことのある器具もあった。しかし、細かな点など使い方で知らない点もあったため、今後の研究で活かしていけると思う。

4) 今回受講した内容について、今後活かさないと思った点

- ・ 特に無し

【コース②】住吉フィールド 受講生：宮崎大学 14名、東海大学 3名、南九州大学 4名

| 質問項目 | ① | ② | ③ | ④ |
|--------------------|--------------|------------------------|-----------|--------------------|
| 声の聞き取りやすさ | 聞き取りやすい (19) | 早口 (0) | 声が小さい (2) | その他の理由で聞き取りにくい (0) |
| 講義(実習)のスピードおよび時間配分 | 速すぎる (3) | 適切 (17) | 遅すぎる (1) | |
| テキストおよび資料 | 適切 (19) | 不適切 (2) * ¹ | | |
| 実習内容に関する説明 | 適切 (21) | 不適切 (0) | | |
| 実習機械・器具の説明 | 明確 (21) | 不明確 (0) | | |
| 質問への対応 | 適切 (21) | 不適切 (0) | | |
| TAの指導補助 | 適切 (21) | 不適切 (0) | | |

*¹テキストおよび資料について、不適切な点：・概略と実習内容の項が離れていて、見にくい。

・資料が見にくい。

1) 今回受講して興味を持てた点

- ・ 牛の採食調査中の観察において、実習と平行して観察個体の行動観察が行われ、それにより各個体の群中での順位がなんとなく掴めるように思えたため。
- ・ 超音波を用いた検査法と肉質診断に、最も興味を持つことができた。また、データロガーや飼料タンクの塗装の違いについても興味を持つことができた。
- ・ 今回初めて、直腸検査を行った。講義の中では何度か耳にしたが、実際に自分で感じたものは想像していたものとはかなり異なっていた。今回の体験は、大変貴重なものだったと思う。
- ・ 超音波検診(繁殖診断、肉質診断)および直腸検査、採血がとても充実しており、楽しかった。直腸検査と採血においては、普段絶対にできない経験であるため、良い経験となった。超音波を用いた肉質診断については、生きたまま行うことができ、もし肉質に問題が確認された場合も、飼育の仕方次第で改善することが可能であるため、今後より良い畜産物生産において非常に有効であると感じた。今回参加して、本当に良かった。
- ・ 採血や直腸検査など、とてもインパクトがあり、普段絶対にできない経験ができて良かった。
- ・ 全ての講義に対して、興味を持つことができた。次回このような機会がまたあれば、事前に実習内容について予習を行ってから臨みたい。
- ・ 全ての講義に興味を持つことができた。特に2日目の講義は、1日目以上に興味を持つことができた。今後超音波については、練習を積み重ねて上手になりたい。
- ・ 超音波を用いた繁殖診断について、直腸検査での超音波診断は初めての経験で、とても興味を持つことができた。
- ・ 普段の講義ではなかなか学べない畜産のことを広く学ぶことができ、ためになった。特に直腸検査は初めての経験で、どこを触っているか分からなかったが、勉強になった。
- ・ 大動物に対する実習は初めてだったため、全てが新鮮で楽しく思えた。特に、直腸検査は新鮮だった。
- ・ 自分の研究分野以外の研究や取り組みに、少しでも触れることができて良かった。

- ・ データロガーを自分の研究にも活用できるのではないかと思った。
- ・ 超音波検査と性ホルモン測定がおもしろく、性ホルモンなどについて興味が湧いた。他にも、直腸検査や牧草の生産性と放牧の利用の計算については経験があったが、再度学べて良かった。
- ・ 超音波検査と性ホルモン測定によるウシの性腺機能評価について、新しい発見ができた。
- ・ 万歩計を雌ウシに装着し、発情を判断し、時期によって雄と雌の産みわけが可能になるという点に驚きを感じた。直腸検査では、触れるだけでどの部分か分かるのがすごいと思った。また、データロガーは初めて見たが、便利で正確なものだったため、興味を持てた。
- ・ 植物油の過酸化がヒナの体重に及ぼす影響について、過酸化と新鮮油に対する嗜好性の違いが原因であるということに興味を持った。
- ・ 牛の行動を観察したり、温度、湿度管理を細かく行って管理するなど、初めて学ぶことが多く興味を持てた。
- ・ データロガーの講義にとっても興味を持てた。私が目指す管理栄養士の業務内容にも、食品の品質管理等があるため、データロガーの利用法や効果を学ぶことができて良かった。
- ・ 牛の万歩計のことは、以前テレビで見たことがあったため、よく理解することができた。今回、実際に見ることができて良かった。

2) 今回受講して興味を持てなかった点

- ・ 実習の説明が少し、専門的過ぎるように感じた。

3) 今回受講した内容について、今後活かせると思った点

- ・ 飼料タンクの色の違いをいつも不思議に思っていたため、今回その理由を知ることができて良かった。今後、酪農場でボランティアを行う機会があるため、その時に活かしていけると思う。
- ・ 飼料品質が食肉のおいしさだけでなく、衛生面においても影響を及ぼすと言うことを知り、飼育過程や飼料成分等の重要性と知ることの大切さを勉強でき、今後活かすことができると思った。
- ・ 安全性を知るためには、どのように育てられたか、どのような餌で育ったかがとても参考になるため、安全性、おいしさの点で役に立った。
- ・ 今回、飼料の適正管理が重要だということを学ぶことができた。牛の体の状態に応じて、適正な飼料を与える。これは人の食事管理と同じことが言えると思った。
- ・ 牛の人工授精などに活かせると思った。
- ・ 牛の繁殖について学ぶことができたと思う。今回の実習で新しい発見ができ、これからももっと深く学んでいきたいと思った。
- ・ 同じ内容でも、地形や気温が異なるところで実験を行うことができたので良かった。
- ・ いつも産業動物に関して、獣医師としての目線から教わることがほとんどであるため、違う立場の人の教えなどを聞くことができて良かった。今後、産業動物獣医師になった際、色々な視点から物事を考えられるかもしれないと思った。
- ・ 今までの授業ではあまり大動物に触れる機会がなかったため、将来どの分野に進むかを考える上でとても参考になった。
- ・ 今後の進路というか、身の振り方の参考になった。
- ・ 将来、大動物の獣医師になった時に、牧草や飼料、繁殖のことを詳しく理解することで、農家に適切な指導を行うことができると思った。
- ・ 自分の専門以外のことも実習に組み込まれており、もっと詳しく勉強してみたいという意欲が湧いた。特に超音波測定や直腸検査は、これから自分が身につけていきたい技術であるため、それらを体験することができて本当に良かった。3年生の実習においても直腸検査があるが、それを身につけられるように、今回の実習を活かして自分でも練習しに行きたいと思います。
- ・ 動物遺伝育種学研究室に入室することができたため、講座5は学んだこと全てを活かすことができると思う。早く自分で超音波測定を行えるようになりたい。
- ・ 畜産に関する仕事、研究で知らないことがあった。自分の分野以外について体験することができ、さらに深く学びたいと思った。

- ・ 実際に技術を間近に体験することができて良かった。現場を少しでも知っておくことは、農技全体に活かせると思う。
- ・ 普通の大学生活において、牛と触れ合う機会は少ないため、どうやって牛が育てられているのか、どうやって搾乳が行われているのかなどを知ることができ、食に対する意識が変化した。
- ・ 今回の実習を通じて、より実践的な畜産を体験することができた。今後、畜産物を生産する仕事に就きたいと考えているため、牛の健康管理を初め、生産に関する作業を学ぶことができて良かった。
- ・ 他の学生と交流しながら、畜産の知識を身につけられるという点で、普段の講義と比較してとても刺激的だった。班分けを行って行動するのが良いと思う。
- ・ 自分自身植物系に進む予定であり、今後、畜産に関する知識や技術を習得する機会が少なくなるため、とてもためになった。農学部で農学を学ぶにあたって、ひとつの専門に偏らず、様々な分野を学ぶことは大切であると思った。
- ・ 自分の専門以外のことを多く学ぶことができた。それぞれの分野の機械や実験方法を知ることができ、今後それらに応用することができるのではないかと思う。自分の視野を広げることもできたと思う。

4) 今回受講した内容について、今後活かせないと思った点

- ・ 自分は飼料作物に関する事を重要視しているため、2日目の受講内容には学問的に興味は持てても、活用には疑問を抱く。

【共通項目】 共通実習全般に関して

1) 今回の実習の運営について（宿泊場所、キャンパス移動、スケジュール等）

○宿泊場所について

- ・ 宿泊は、同じ学年同士にして欲しい。他大学の学生といきなり同じ部屋だったため、あまり仲良くなれなかった。
- ・ お風呂のシャワーが水で困った。
- ・ 宿泊施設が以前よりきれいになっていたので使いやすかったが、お風呂のシャワーが水しか出なかったため困った。
- ・ 宿泊場所は、少し狭かった気がする。スケジュール、イベント、実習などについては、全て満足のいくものであった。
- ・ ベッドの床が折れており、寝るのがとても怖かった。
- ・ 宿泊場所は、使いやすかった。スケジュールも充実していたと思う。
- ・ お風呂の時間が短い。
- ・ トイレや手洗い場に石けんを置いて欲しい。
- ・ 他大学の人も同じ部屋で、知っている人が1人もいなかったが、逆に色々な話ができ楽しかった。

○キャンパス移動について

- ・ コース①（木花）の人は、移動が大変そうだった。
- ・ 自家用車での移動を認めて欲しい。
- ・ コース②（住吉）で移動がなかったのが良かった。コース①（木花）の人は移動が多く、大変だったと思う。
- ・ キャンパス間が遠く、移動が大変だった。
- ・ 大学のバスでの移動であったため、とても楽で良かった。

○スケジュールについて

- ・ スケジュール構成が不十分であると思う。現行の実験、実習と比較すると、説明の点で完成度が低いと感じた。
- ・ 2日間の短い期間で多くのことを学ぶことができよかったが、少し詰め込みすぎな感じがした。特に2日目の内容は、もう少し時間に余裕があるとよかったと思う。
- ・ 立ちっぱなしで、結構ハードだった。もう少し休憩が欲しい。
- ・ 超音波の実習の際の、暇な時間が長い。
- ・ スケジュールは時間もちょうど良く、余裕のある行動ができてよかったと思う。
- ・ 2日間で4つの講義を受けたが、それぞれに関してもう少し時間をかけて学びたかった。特に体を実際に動かして行う実習の時間がもっと欲しい。
- ・ 休憩時間がもう少し欲しい。授業の際に、疲れて眠りそうだった。
- ・ もう少し1日目のボリュームを増やしても良いと思う。
- ・ 今回、1泊2日と短かったため、もう少し長くしても良いと思う。
- ・ 休憩時間が短い
- ・ スケジュールの中に、休憩時間をしっかり入れて欲しい。
- ・ 休憩時間をきちんとスケジュールに組んで欲しいが、ゆとりのある時間編成で良かった。
- ・ 休憩をきちんととって欲しい。2日目は、休憩が十分あり良かった。
- ・ カリキュラムが詰まっていたこともあり、ゆっくりとしたスケジュールではなかったが、特に不便を感じることはなかった。

○その他

- ・ 懇親会で色々な人と話ができたので、良かった。2日目の朝食の時間などの連絡をしてもらえてたらよかったと思う。
- ・ 講義により班が異なるため、なかなか仲良くなれなかった。初めから4つの班くらいに分け、班行動を行ったほうが良いのではないかと思った。
- ・ 講義の際のスライドが小さかったため、もう少し大きくして欲しい。
- ・ バーベキューは、すごく良かった。
- ・ 朝食のパンがおいしかった。
- ・ 晩御飯の場所が遠く、雨にぬれた。

2) 今回の実習への参加について (ためになったか、感想等)

- ・ 実習の場数を増やす点では、良い経験になった。ただ、その経験が濃いものか、薄いものかは受講内容によってそれぞれ異なった。
- ・ 実習を通じて他大学や他学科の学生と交流を深めることが多く、大変刺激的だった。
- ・ 他の学科の実習、講義を受けることができたので良かった。普段の大学生活では学べないことが多くあり、また他の大学ではどのようなことをしているのか話を聞くこともできたため、良い経験になったと思う。次回、東海大学で行われる際は、ぜひ参加したいと思う。
- ・ 他大学との連携という内容で今回の実習に参加したが、大変良い経験をすることができた。
- ・ 現在、先生方や牧場で研究していることを、実際に目にしながら学習することができて良かった。また、TAの説明も分かりやすく、他校の人とも一緒に考えることで畜産に関する興味もますます深まった。次回の実習にも、参加したいと思う。
- ・ 畜産方面に進みたいと考えているため、今回の実習を通じて、より畜産に興味を持った。特に肥育牛に関して、飼料管理から体調まで詳しく学ぶことができ、将来に活かしたいと思った。
- ・ 牛と触れ合うことが楽しいと思うことができた。多少においがあつたが、慣れることができたと思

- う。参加人数はあまり多くなく、今回の人数ぐらいが良いと思う。
- 色々な人と交流することができ、また知らなかった技術を体験することができて良かった。
 - 今まで経験したことのない事を体験することができた。TAの人が分かりやすく教えてくれたので良かった。もう少し、実際に牛に触れる作業が多くて良かったと思う。
 - 普段受けることのできない獣医の講義を受けることができて良かった。自分にとって、超音波を実際に体験できたことが一番ためになった。機会があればまた参加したい。
 - 学部をこえた実習であるため、他学部の先輩方の話を聞くことができ、とても勉強になった。他大学と一緒に実習を行う機会はなかなか無いため、このような実習も面白いと思う。今回の実習で、自分が勉強不足だと感じた場面もあったため、これからまた勉強していきたい。
 - 畜産のことを学べたことはもちろん、他大学の学生と交流することができて良かった。懇親会も楽しかった。
 - 今後学ぶであろう事を先んじて経験することは、自分にとって重要なことであり、将来どうするかということを考えるきっかけとなった。また、普段なかなか交流できない人や他大学の人々と知り合うことができ、なにより貴重な経験ができた。
 - 異なる分野の研究や他大学との交流など、普通の大学生活ではできない貴重な経験となったと思う。
 - 自分の大学のフィールドだけでなく、他の大学のフィールドで学ぶことで視野が広がった。また、他大学ではどのようなことをしているのかを学ぶことができた。
 - 自分が今まで学んできたことよりも詳しく理解することができたり、新たなことを学ぶことができてよかった。また、他大学とも交流を行えたので良かった。これからはずっと続けて欲しい。
 - 超音波の機械など、普段扱うことのできない機械を使用することができ、貴重な経験になった。今回行った実習を、大学で活かしたら良いと思う。
 - 知識が深まり、とても勉強になった。
 - 今回の実習では、今までに経験のない、また今後経験することのないであろう実習を体験することができた。牛についての知識も広がり、牛に対する見方も変わった。
 - 今回初めてのことで、牛の行動を間近で観察したり、データロガーによる管理など、牛を育てるために色々なことがされており、今回参加しなければ知らなかったことばかりで、とてもためになった。また、直腸検査は、普段絶対にしない体験でとても緊張し、不安もあったが、楽しくてとてもいい思い出になった。今回の実習に参加して良かった。
 - 牛を1時間ずっと観察することで、愛着が湧いてきた。住吉フィールドでは、試験的に様々なことが導入されており、最先端の技術を見ることができて本当に勉強になった。
 - 大学では学ぶことのないことばかりで、とても新鮮だった。
 - これまで分かっていたつもりだったことを、きちんと説明してもらい理解することができた。新しい発見も多く、とてもためになった。
 - 初めての経験ばかりで戸惑うこともあったが、興味を持てる内容が多くあった。参加して本当に良かった。
 - 他大学との交流を通して、自分たちの研究室のダメな点や違いが見えてきたり、新しい方法を学んだり、自分の視野が広がった。今後の活動につなげていきたいと思う。
 - 普段の研究では、ニワトリのタンパク質について研究を行っているが、今回、ウシの病気について調べることができてとても良い経験をする事ができたと思う。
 - 他大学との知識交流もでき、自分たちの知識不足も痛感することができた。今後の研究に向けて、良い刺激になった。
 - 様々な方と交流する機会があり、良い刺激になったとともに、まだまだ勉強不足であると実感させられた。その意味でも、今後畜産を初め、農業に携わる意欲も掻き立てられた。
 - 講義内容だけでなく、他学科、他大学の考え方や現状を学ぶことができた。